

ご存知ですか？

弁天さまと万灯会のはなし

弘法大師が始められた万灯会

「万灯会」と書いて「まんとうえ」と読みます。正式には、「万灯供養会法要」。各家のご先祖、そして縁の深い精霊のご供養を行うとともに、生かされていることの幸せに思いを寄せ、感謝の心を捧げて行う行事です。

夕間迫る境内にいくつもの灯籠が立ち並び、間のなかに揺れるともし火が幻想的な雰囲気をもたします。この法要は、弘法大師が、災いを取



り除き、福を招くことを祈念して行われたのが初めてといわれています。

「法灯明、自灯明」の教え

お釈迦さまはクシナガラで入滅されましたが、そのとき弟子たちに、「われ亡き後、汝ら修行僧は、法をよりどころとし（法灯明）、自己をよりどころとせよ（自灯明）」と言ひ遣されました。

万灯会は、無数の灯明を仏さまに捧げる法要です。灯明は、迷いの闇を打ち破る智慧の光を象徴しています。まぶしいばかりの灯明は、智慧の光明となつて、煩惱に染まった心の闇を打ち払います。

幸せの女神、弁天さま

弁財天は、七福神のなかで唯一の女性の神様で、弁天さまとして親しまれています。インドでは、サラスバティと呼ばれています。サラスは水のこと、河や池を含めて水を神



格化した女神を意味しています。

四苦八苦を水に流し、福德を与えてもらえます。

また、弁天さまは知恵と財福と音楽の神様です。学問、合格、技芸の上達には霊験あらたかです。

長居の弁天さん万灯会

今年も臨南寺では、八月十二日午後六時から本堂前で、「長居の弁天さん万灯会」が行われます。

みなさまの願い事を書き入れていただける献灯を用意しております。ご先祖や亡き人々の菩提を祈るとともに、皆様の願いを一緒に祈念させていただきます。

明日を生きぬく勇氣と活力をいただくためにも、由緒ある当寺の弁財天にどうぞお参りください。



楽しい催しも
もりだくさん



八月十二日の夕刻から、臨南寺は楽しいイベントに包まれます。「スヘルなどのコンサート、音楽かしい屋台の数々、盲導犬や救助犬のアモンストレーションなど、子どもさんからお年寄りまで楽しんでいただけます。

また、八月十二日、十六日のお盆期間中は毎日、夕涼みフリーマーケットを行います。どなたでも参加できます。家に眠っている贈答品などを持ち寄つての物々交換もOK！事前にお申し込みください。



天命を知るということ

金松山 臨南寺住職

渡邊 剛毅

長居スタジアムにサッカーのワールドカップが来ました。臨南寺もボランティア本部の会場に当てられるとともに、警察車両の待機場になりました。お寺としての機能は一時停止せざるをえなくなり、皆様にもご迷惑をお掛けしました。

ワールドカップは当初フリーガン対策で騒がれましたが、なんととっても世界中の人が熱狂する世界の祭典、お祭りです。大いに協力してあげないといけないし、われわれ日本人も外国の人に見習って大いに楽しまないといけない。お墓参りを予定されていた皆様にも、ご協力をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

サッカーの選手を見てみると、技能に精通すればするほど、技

能だけでなく精神的にも高みになって行くようです。どんなスポーツでもそうだし、芸事や私たちの仕事においても同じことが言えます。一芸に秀でた人には、確固とした信念や誇りといった、技能の高さだけでなく、精神的にも仏教の悟りに近いものを感じます。

自分の本当の姿はどこにあるのか。その姿を捉まえるために、誰もが苦勞しているのです。「五十にして天命を知る」という言葉があります。お釈迦さまと同じ頃に中国で道を説いた孔子の言葉です。天から自分に与えられた使命は何なのか。それを探すためにいろんなことをやろうとする人がいます。それが実は逆なのです。いろいろやればやるほど見えなくなるのが人生で



す。一筋の道に思いを定めること。それが何よりも大切で、ひとつのことに一生懸命打ち込んでいけば、次第に判ってくるものです。

「仏道をならふというは

自己をならふなり」

道元禪師

合掌

臨南寺 行事予定

親子坐禅会

七月二十八日(日) 午前十時～十二時

八月二十五日(日) 午前十時～十二時

定員十組 無料(要予約)

坐禅の後、紙粘土体験教室を開きます。これで夏休みの宿題もOK! 夏休みの思い出を作りませんか?

墓前回向(旧墓)

八月十日(土) 午前十時～十二時

井天樓万灯会

八月十二日(月) 午後六時～九時

詳しいことは、前ページに紹介されています。

八月十日～十五日は、夕涼みフリーマーケットなどのイベントを行っています。

墓前回向(新墓)

八月十二日(月) 午後七時～九時

お盆会

八月十六日(金) 午前九時～午後一時

彼岸会

九月二十六日(木) 午後一時～三時

心休まる想いのひととき

私だけの

ほっとタイム



△それぞれに違う、ほっとすると書き添えて、読者の方から届いたのはどんなひとときをさしようか？

語り合って ほっと

おいしい物をおいしく食べられる人たちとテーブルを囲んで、あーでもない、こーでもない、現実も夢もすべてさらけ出して語り合い、明日もがんばろうと思っひととき。

長宗敦子さん 40代 会社員

臨南寺で ほっと

長居公園に入ると足早にならなっています。二歩境内に入れば空気が違う心地がして、心と頭がスーッと澄み渡ります。「ここがこの世の浄土」と思わせていただける、私にとっての別天地です。

大谷勝美子さん 50代 教員

布団・風呂で ほっと

高校時代の一番の思い出は、春のバレーボール全国大会に出場したこと。団体生活が僧堂での修行に役立ちました。学生時代も今も、布団・東司(トイレ)風呂がほっとする時と場所です。

大賀善信さん 20代 僧侶

あなたの

ほっとタイム



あなたのほっとする時間をお書きください。はがきがファックスです。

マトリ合同法要「若葉祭」 楽しい講演会を 同時開催



五月十二日、マトリ合同法要「若葉祭」がしめやかに営われました。

同時に、産婦人科医で日本笑い学会副会長の昇幹夫先生の講演会を開催。歌あり笑いありの楽しいひとときを過ごしました。昇先生のお話の一部をここに再録します。

「皆さん平均寿命の八十歳までは生きるつもりでいるでしょ。これ日にちで計算すると、ざっと二万九千日になります。あと何日残っていますか？ 私はあと九千日です。三分の一は寝てますから、六千日しかありません。

人は人生の終わりのとき、楽しいことしか思い出さないといいいます。



坐禅会
毎月二十日 午前十時～午後一時
献香料(お志)

早期坐禅会
第一土曜日 午前六時三十分～

写経会
毎月二十日 午前十時～午後四時
写経料(納経料を含む)／二〇〇〇円
八月十日～十五日・九月二十日～二十五日は毎日開催

子ども空手教室
毎週木曜日 午後七時～九時
一月／六〇〇円

書道教室
第二木曜日 午前十時～
第四木曜日 午後一時～
一回／二五〇〇円

絵手紙教室
第二木曜日 午後一時～
第四木曜日 午前十時～
一回／二五〇〇円

実用ペン習字教室
第一日曜日 午後二時～四時
一回／一〇〇〇円(材料費別)

講師／岩水千寿
新しい事も事前のお申込みが必要ですよ。

予約 押し花教室 秋から開催
五月のマトリ合同法要で好評でしたなつかみずえ先生の押し花教室を秋から開催します。ご希望の方は都合のよい日時をお知らせください。

自分で楽しい思い出をいっぱい作って、じゃあね、これしかないと思いませんか？ ガンで死ぬ人がいま三人に一人。ガンも悪くありません。心臓病は突然くる。何も言う暇はない。脳卒中は助かって半身不随。それに比べてガンは、友達も家族も同情してくれるし、痛みも九割はとれる。

誰しも死なないうちで生きています。病気を治すな己を治せという言葉があります。病気は、そんな生活をしていいのですかというメッセージです。ガンになることは、

必ずしも人生の失敗ではありません。ちよっと見方、考え方を考えるだけでまったく違うものが見えてきます。確かなのは今だけです。今を大切に楽しい思い出づくりをいたしましょう。

「ほっと」6号

平成14年6月

編集・発行：榎林「ほっと」編集室

〒546-0034

大阪府東住吉区長居公園1-32

0120-711-493

TEL 06-6698-1001 FAX 06-6697-3330

Eメール：eyogaria@shindun.co.jp

ホームページ：http://www.shindun.co.jp

お知らせ

日本中がワールドカップで沸いています。臨南寺も大変でした。日本がチェンジアに勝って決勝トーナメントに進んだ日、臨南寺周辺はお祭り騒ぎ。翌日の朝まで会館がくすぶっていました。高熱病に寝込んだ人が900人。それでもみんなが熱心に楽しみそうです。ご協力有難うございました。(6月15日記)